

「人間を救うのは人間だ。」
赤十字と学ぼう!



一般普及講習

1 救急法

基礎講習

AEDの使用方法や心肺蘇生法を中心とした一次救急処置の知識と技術を習得できます。

救急員養成講習

日常生活における事故防止、
けがの応急手当、搬送、急病などに
ついての知識と技術を習得できます。



お申し込み方法

電話申し込み

和歌山県支部 事業推進課まで
TEL: 073-422-7141

WEB申し込み

和歌山県支部HPまたは右の
QRコードから、申込フォームへアクセス

指導員派遣

あなたの街や会社で
開催してみませんか?

地域や職場での講習に指導員を派遣いたします!

短期講習

一般普及講習の中から、
必要とする内容を取り上げて、
短時間で行う受講しやすい講習です。
(例)心肺蘇生法と止血法で約90分など
ご希望に合う講習を行いますのでご相談ください。

開催の2か月前までにご相談下さい。

防災減災セミナー

防災意識や知識を高め、地域や職場での
災害対応に役に立つ講習です。
いざという時に、自分自身や家族の命を守り、
地域のみんなで助け合い、支え合える社会を
目指すために、一緒に動き出しましょう!

令和6年度日本赤十字社和歌山県支部
収支決算概要

歳入(340,831千円)

個人からの
会費・寄付金収入
183,050千円

法人からの
会費・寄付金収入
27,711千円

その他の収入
130,070千円

歳出(310,551千円)
▼
歳入歳出差引額
(翌年度繰越金)
30,280千円

災害救護活動・救護体制の強化に

32,884千円

- 令和6年能登半島地震災害への救護班等の派遣
- 救護班要員等の育成、災害救護訓練や研修の実施
- 災害物資の備蓄、救護資機材の整備

生命と健康を守る講習及び
赤十字ボランティアの活動に

25,870千円

- 救急法等の各種講習会の実施
- 奉仕団活動を推進するためのボランティアの養成

市町村での赤十字活動に

10,304千円

- 各市町村での救護資機材の整備
- 各地域でのボランティア活動

赤十字会員の募集や広報活動に

24,734千円

- パンフレット、広報誌の作成
- ダイレクトメールの送付

施設整備準備資金等積立金に

125,926千円

- 運営管理等の経費に
90,833千円

09 大阪・関西万博 赤十字パビリオンへの職員派遣

赤十字は令和7年4月13日から10月13日まで大阪・夢洲(ゆめしま)で開催の大阪・関西万博において、「国際赤十字・赤新月運動館」(赤十字パビリオン)を出展しています。

日本赤十字社はパビリオンの企画調整・運営を行っており、和歌山県支部も運営スタッフとして、国内外の様々な来館者の方々に赤十字活動を知りたいよう努めています。

赤十字パビリオンへ、ぜひご来場ください。



日赤和歌山

活動報告 一般普及講習開催日程 令和6年度収支決算概要 活動資金のご協力について

赤十字は、動いてる!

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、活動を寄付で支援してくださる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも、これからも、ずっと。



活動報告

01 第70回和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを実施

令和6年8月8日(木)、9日(金)にかつらぎ町の紀北青少年の家にて第70回和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターを開催し、県内の小学校17校から84名、中学校3校から6名、高等学校5校から12名の計102名が参加し、災害時の避難所体験としての炊き出しや段ボールベッド設営、車いす体験及び高齢者疑似体験とともにフィールドワークに取り組みました。

参加者からは、「自発的に行動することの大切さを学べた」「他の学校の生徒と友達になれた」「みんなで協力して助け合うことの大切さを学べた」「災害が起ったときに何をすべきかを学べた」「来年も参加したい」などの意見が多くありました。

今後も赤十字活動の未来を担う青少年が実践活動を通じて、「気づき、考え、行動」できる学びの機会を提供し、赤十字思想をもった子どもたちの育成を行っていきます。



02 第42回NHK海外たすけあいキャンペーンの実施



日本赤十字社では、毎年12月1日から25日の期間、日本放送協会及びNHK厚生文化事業団との共催で紛争や災害、飢餓などで苦しむ世界の人々を支援する「NHK海外たすけあい」キャンペーンを開催しています。

和歌山県支部でも、期間中に、県内で活動いただいている地域赤十字奉仕団等の協力を得て、各地域において啓発活動及び街頭募金活動を行いました。



03 第35回(令和6年度)和歌山県赤十字奉仕団大会を開催

第35回和歌山県赤十字奉仕団大会を、令和6年12月5日(木)日本赤十字社和歌山医療センター多目的ホールにて開催しました。

この大会では、永年にわたり赤十字奉仕活動にご尽力いただいている方々に対して、日本赤十字社業務功労表彰等を行っています。

式典には、県内地域奉仕団関係者など約150名が参加し、金色有功章、銀色有功章及び支部長感謝状の受章者に岸本 周平和歌山県支部長から有功章などが授与されました。

また、昨年度から行っている優良赤十字奉仕団表彰について、今年度は、かつらぎ町赤十字奉仕団に表彰状と認定証が授与されました。

式典の後、日本赤十字社和歌山医療センター糖尿病・内分泌内科金子部長による講演が行われ、盛会裏に終了することができました。



04 「赤十字運動月間」の啓発活動を実施



日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として「赤十字会員増強運動」を全国で展開し、社業の推進について広く国民の理解を求めてきています。

和歌山県支部でも、県内で活動いただいている赤十字奉仕団等の協力を得て、各地域で啓発活動及び街頭募金活動を行いました。



05 令和7年全国赤十字大会が開催

令和7年5月13日(火)、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下をはじめ、名誉副総裁の秋篠宮朝紀殿下、常陸宮妃華子殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、令和7年全国赤十字大会が明治神宮会館において開催され、和歌山県支部からの21名(支部役員、有功会員、活動資金協力者、赤十字奉仕団委員長、支部・施設職員)を含む、全国の赤十字関係者約1,600名が参画しました。



06 令和7年度第1回評議員会を開催



令和7年6月10日(火)、和歌山県赤十字会議室において、令和7年度第1回日本赤十字社和歌山県支部評議員会を開催しました。

評議員会とは、県内における赤十字会員の皆様から選出された評議員の方々に、本県支部、医療センター及び血液センターの事業計画・報告や予算・決算などの重要な事項をご審議いただく場です。

今回の評議員会では、令和6年度の事業報告及び歳入歳出決算についてご審議いただき、承認されました。

08 第29回日本赤十字社第4(近畿)ブロック合同災害救護訓練を実施

令和7年6月7日(土)、日本赤十字社第4(近畿)ブロック合同災害救護訓練が大阪府支部の担当により高槻赤十字病院他で開催され、和歌山県支部から常備救護班1班7名、支部職員7名、和歌山医療センター職員7名及び赤十字特別救護奉仕団員5名の26名が参加しました。

訓練は有馬-高槻断層を震源とするマグニチュード7の直下型地震を想定し、支部本部訓練、避難所でのアセスメント(状況調査)訓練、トンネル崩落事故を想定した現場救護所訓練、こころのケア訓練及びボランティア訓練など、近年増加する災害に赤十字として即応できる体制を整えられるよう、実践に即した訓練を実施しました。



赤十字活動資金のご協力について

日本赤十字社が行う人道支援活動は、皆さまからのご寄付によるご支援で行われています。継続的なご寄付が、「いざ」というときの迅速で最適な支援や、普段からの備えを可能にします。ぜひ、個人の方も法人の方も会員となって日本赤十字社の活動をご支援ください。

ご協力方法

- 郵便局(ゆうちょ銀行)からの送金
口座番号:00930-4-313327/加入者名:日本赤十字社和歌山県支部
※振込先等を記載した「専用振込用紙」もございますので、ご連絡ください。(TEL:073-422-7141)
- 日本赤十字社和歌山県支部(和歌山県和歌山市吹上二丁目1番22号)窓口でのご協力
- お住いの市町村窓口(地区・分区)でのご協力

